

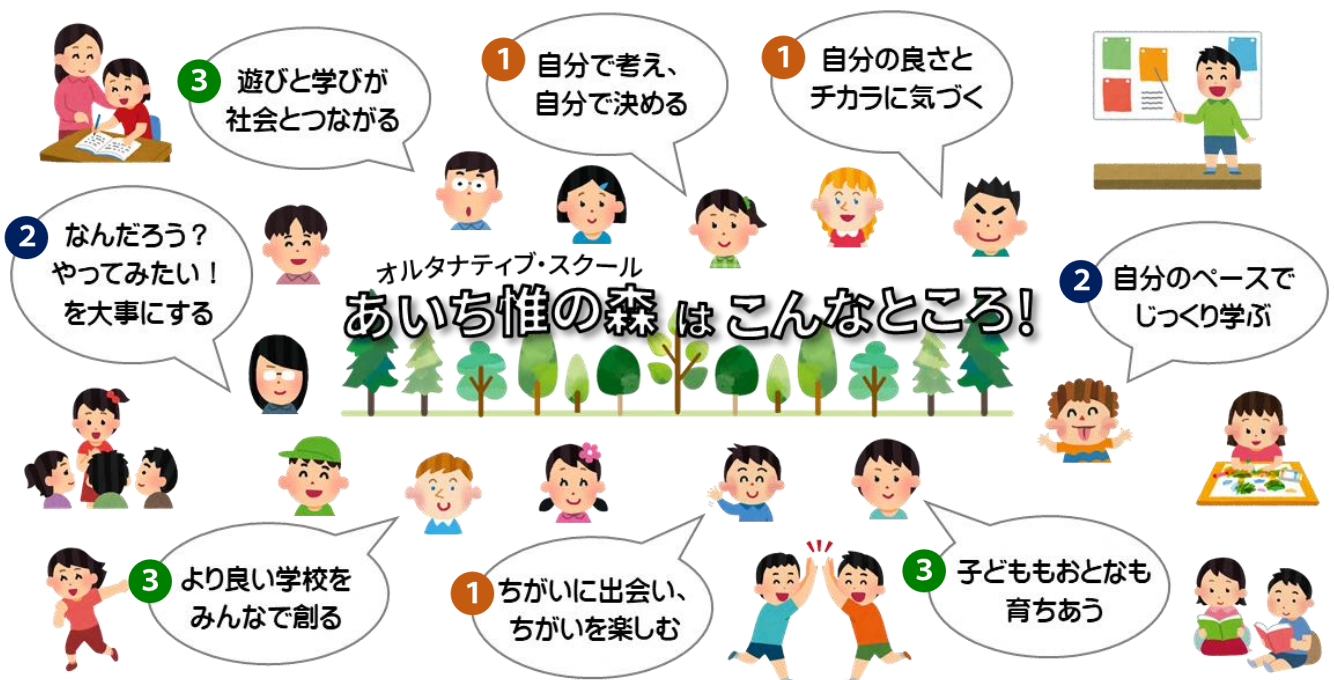
教育課程

1-1. 学校の基本理念

◇ 基本構想で定めた基本理念が実現できる学校をめざし、カリキュラムを計画します。

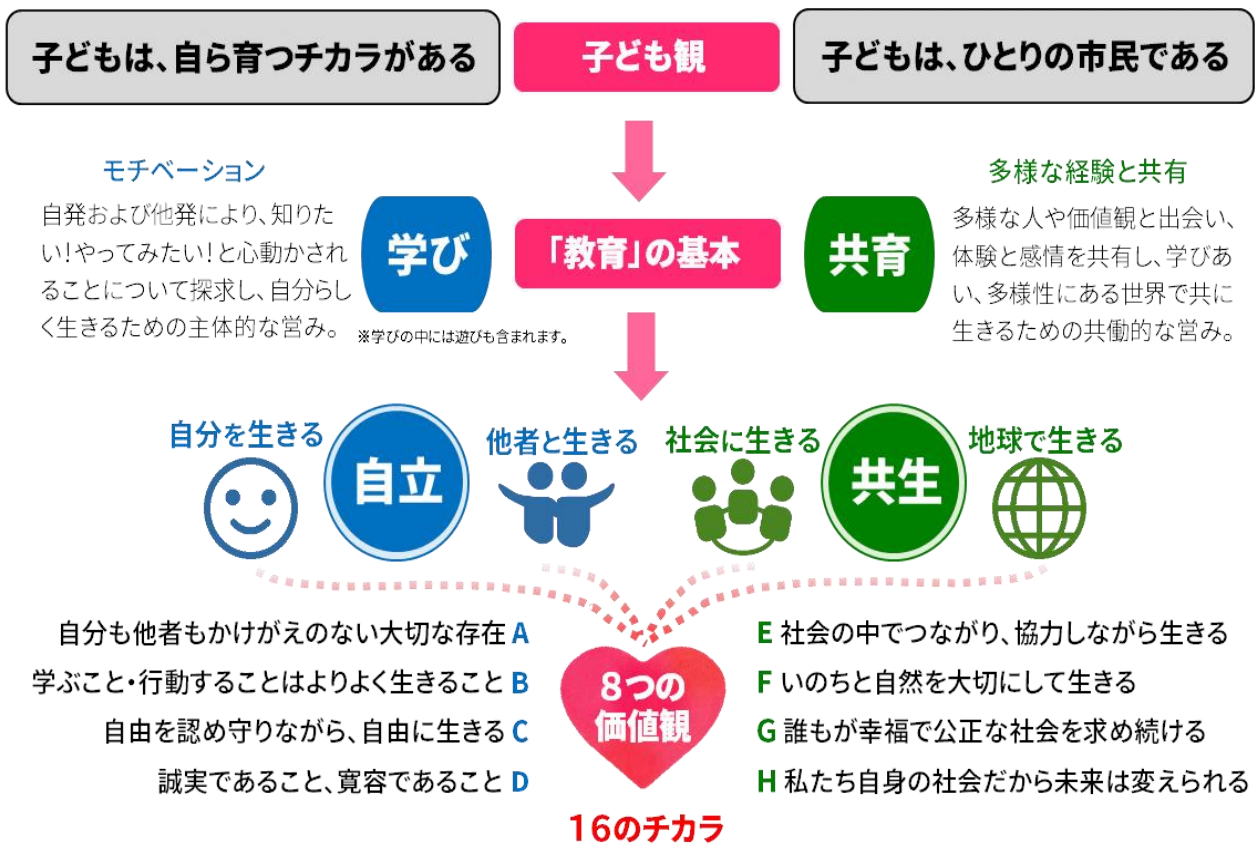


◇ 基本構想を平たく言うと、次のとおりとなります。※番号は主に対応する基本理念。



1-2. 子ども観、「教育」の方針、育みたい価値観とチカラ

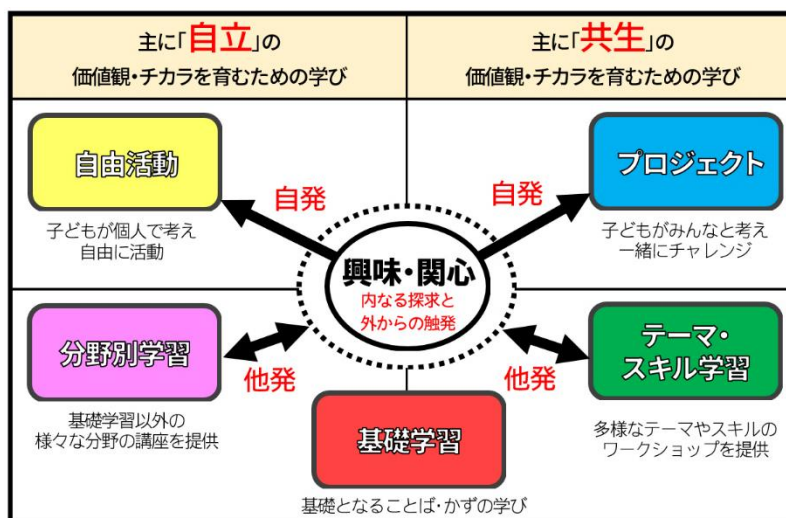
- ◇ 「教育」のあり方は、子どもがどんな存在だと考えるか、つまり「子ども観」によって大きく変わる。この学校では、以下のような「子ども観」に立つ。また、子ども観を踏まえ、子ども自身による主体的な「学び」と、子ども同士や子どもと周りのおとなによる「共育」を、「教育」の基本とする。
- ◇ また、中学校卒業時に一人ひとりの子どもたちに育まれているとよいと願う価値観（概念・意識）とチカラ（技術・態度）は、以下のとおり。子どもにはそれぞれ個性や持ち味があり、もちろん価値観やチカラは一人ひとり多様であってよいものである。しかし、ここに掲げる価値観とチカラは、学校の基本理念を実現するため重要で、子どもたちの『自立と共生』のチカラを育むために大切であり、どの子どもにも共通して育てていく。



① かけがえのない自分のことを大切にする	⑤ 学び方を学び、主体的に必要な学びを行う	⑨ 社会を構成する市民という意識を持つ	⑬ 環境の多様性・相互依存性・有限性に配慮する
② 自分で考え、感じ、自分のことば等で表現する	⑥ アサーティブに気持ちや考えを伝える	⑩ 様々な場で他者と対話し、合意し、協力しあう	⑭ 情報を多面的・批判的に捉え、公正な判断をする
③ 知りたいことや考えたいことを探求する	⑦ 文化や価値観の多様性を受容する	⑪ 対立は悪くないと考え、対立を建設的に解決する	⑮ 人々の願いにあう新しい価値や変化を創造する
④ 願いを持ち、失敗もOKでチャレンジする	⑧ 他者を思いやり、人権を尊重する	⑫ 自然といのちの尊厳を実感し、大切にする	⑯ 課題の解決や望む未来の実現のために行動する

1-3. 小学部のカリキュラム要素

- ◇ 「基礎学習」、「テーマ・スキル学習」、「プロジェクト」、「分野別学習」、「自由活動」を、カリキュラムの主要5分野と位置づけ、自発と他発の学習を包括的に組み合わせ、「学び」と「共育」を実施する。



- ◇ 主要5分野を含め、下表の12のカリキュラム要素で、全体のカリキュラムを構築する。

カリキュラム要素		概要
主要5要素	① 基礎学習	学びと共育の基礎となる知識と見方・考え方を育む。小学部は「ことば」(国語)、かず(算数・数学)を自律的に学ぶ。
	② テーマ・スキル学習	人権・環境・多文化理解・共生・平和など、学ぶべき社会的・総合的なテーマに参加と体験を通して学び、わたし・あなた・みんなに関わるスキルを育む。
	③ プロジェクト	子どもの自己選択・自己決定により、目的の達成に向けて仲間とともに計画を立て、地域で様々なことにチャレンジする。主体性、対話と協力のチカラを育む。
	④ 分野別学習	基礎学習以外の学習分野について学び、体験し、追求する。校外に出て様々な分野を視察する。芸術、生活・家庭、音楽、体育、理科、社会等にも関わる学習。
	⑤ 自由活動	一人ひとりの「知りたい!」「やってみよう!」が芽生え、追求するための自由な遊びや自主的な活動の時間として設ける。その内容に応じたサポートを行う。
⑥ 個別学習計画	子どもが1週間の学習計画を主体的に立て、1週間のふりかえりを行う。月期、学期、年度の節目にも目標立てやふりかえりを行う。	
⑦ サークルタイム	自分を表現し、知り合い、ふりかえるための時間を毎日の朝と帰る前に確保する。	
⑧ シェアリング	各自が学んだことを発表・共有する機会を設ける。	
⑨ クラスタイム 全校ミーティング	子どもとスタッフによる学級自治をめざしたクラスタイム、学校自治をめざした全校ミーティングを行う。	
⑩ ユースフルタイム	学校の心地よい環境を維持し、よりよくするため、一人ひとりが役割を持ち、毎日少しずつ貢献する。掃除や片付け、修理、花の世話など。	
⑪ スクールワーク	クラス横断型でチーム(係)を作り、学校をより良くする活動。現在、畑、環境、広報、寄付チームがある。	
⑫ 年間行事	入学式、卒業式、文化祭、運動会、お祭りなど各種催しや修学旅行。子どもたちと一緒に創る毎年恒例の行事。	
遊び	子どもの育ちに欠かせない「遊び」を1日の中(ブレイクタイム、お昼休み等)、1週間の中(自由活動)で、その時間を保障する。	



1-4. 小学部の時間割

- ◇ 学習活動の開始は 9:00、終了は 15:20。午前 3 時限、午後 2 時限で構成される。
- ◇ 但し、水曜日の終了は 12:30 とする（午後の時間は、一定のルールの下、生徒は学校施設を利用できる。）。
- ◇ 「基礎学習」は、月曜日から金曜日まで毎日、1 限と 2 限に行く。1 週間あたりの学習時間は、45 分×10 コマ=450 分である。
- ◇ 「自由活動」（月曜日）、「分野別学習」（火曜日）は、各曜日の 2～4 限 135 分で行う。
- ◇ 「テーマ・スキル学習」と「プロジェクト」は、木曜日の 2～4 限に、3 週おきに 135 分行う
- ◇ 個人レベルの週間のふりかえりと翌週の計画を立てるための時間として「個別学習計画」を金曜日 5 限の後半に、学級自治の時間「クラスタイム」を水曜日 3 限に、学校自治の時間「全校ミーティング」を金曜日 3 限、学校をより良くする活動の時間「スクールワーク」を金曜日 4～5 限前半に行う。
- ◇ 学びの成果を発表する時間「シェアリング」を、各期末の特別期間に行う。
- ◇ 毎日の始まりと終わりには、表現・対話、ふりかえりの時間として「サークルタイム」を 15 分ずつ設ける。
- ◇ 活動の最後には「ユースフルタイム」（掃除や環境整備等の時間）を 15 分行う。
- ◇ そのほか自由に遊び・活動する時間として、午前中の 1,2 限の基礎学習で集中した後に、自由に遊び休むことができる 20 分間の「ブレイクタイム」を設ける。また、お昼休みも 70 分間確保し、昼食後に十分に遊び休むことができるようにする。また、予算を付けてグループで活動する「自主企画」を行える。


時間		曜日	月	火	水	木	金
9:00～9:15 [15]		朝のサークルタイム					
1 限	9:15～10:00 [45]	基礎学習	基礎学習	基礎学習	基礎学習	基礎学習	基礎学習
2 限	10:10～10:55 [45]	基礎学習	基礎学習	基礎学習	基礎学習	基礎学習	基礎学習
10:55～11:15 [20]		ブレイクタイム					
3 限	11:15～12:00 [45]	自由活動	分野別学習	クラスタイム	テーマ・スキル プロジェクト	全校 ミーティング	
12:00～13:10 [70]		昼休み			サークル[15] ユースフル[15]	昼休み	
4 限	13:10～13:55 [45]	自由活動	分野別学習	12:30 終了	テーマ・スキル プロジェクト	スクール ワーク	
5 限	14:05～14:50 [45]	自由活動	分野別学習		テーマ・スキル プロジェクト	スクールワーク 個別学習計画	
14:50～15:05 [15]		帰りのサークルタイム			帰りのサークルタイム		
15:05～15:20 [15]		ユースフルタイム			ユースフルタイム		

1-5. 中学部のカリキュラムの要素

(1) 中学部で大切にしたい3つのこと

① 自己の省察と未来デザイン [= 本校の基本理念1]	◇自己省察…本当の自分を知るための能力、自分のことを客観的に見つめるための能力を高める。 ◇「やりたいことが見つかる。」「この人のようにになりたいというロールモデルに出会う。」「進路の方向性を考える。」中で、自分の未来は自分で決め、なりたい自分を見つける。
② 自主・自律の学びの探究 [= 本校の基本理念2]	◇やりたいことを深める。問いを立てトコトン探究する。 (4つの探究レベル ^{※QRコード} のうち「オープンな探究」ができるようになる。) 
③ シチズンシップの発揮 (市民性) ^{※QRコード} [= 本校の基本理念3]	◇自分の考えをまとめて人に伝えることができる。 ◇アサーティブネス (自分も相手も大切にすること)、メタ認知 (客観視して物事を見る) で、他者やみんなと関わることができる。 ◇望む社会を創るために、学校内外の“社会”に目を向け活動する。 

(2) 中学部カリキュラムの4つのウリ (アピールポイント)

キャッチフレーズ	カリキュラム要素 時間割コマ数	解説
① “なりたい自分” を探求する	生き方探求 火・水曜に 計7コマ	◇「知能は単一ではなく、複数ある」「人間は誰しも複数の知能を持っている。」の考え方=MI (マルチプル・インテリジェンス) ^{※QRコード} などを参考に、学ぶ内容と方法を選び、学習や活動を行うことで、個性を伸ばすとともに総合性も高める。 ◇自らの生き方を探求する活動を行う。 
② 学校内外の “社会に参画”する	全校ミーティング スクールワーク クラスタイム プロジェクト 計5コマ	◇学校内では、小学部生徒とともに学校自治ができるように、ファシリテーションやコーディネートを行う。 ◇学校外へは、様々な場や人々・社会と出会い、つながり、自分たちの学びや意見の発信、主体的に社会的活動に参画する機会を設ける。
③ 視野や交流を “世界に広げる”	英語会話 4コマ 海外研修 [※] 3年間に2回	◇日常英会話ができるよう、基礎的な英文法を理解し、英会話への自信を付けることを目的に、「英語会話」の時間を多く設ける。 ◇英会話を実際に使い、様々な文化や価値観と出会うために、外国人と話し、英語圏の途上国、先進国に研修旅行する機会を設ける。
④ 教科ではなく “生きた教養” を高める	読書家の時間 STEM (理数) テーマ探究 計4.5コマ	◇様々な書に出会い、知識・教養の幅を広げる。人権や環境が守られ、共生し平和な社会を創るために必要なことを探究する。 ◇STEM (科学・技術・工学・数学) 分野の総理解を通して、社会課題の解決、新しい価値や変化の創造のための考える機会を設ける。

1-6. 中学部の時間割

- ◇ 学習活動の開始は9:00、終了は15:20。45分間の午前3時限、午後2時限で構成される。
- ◇ 『基礎教養』として、月・火・木・金曜日の1~2限に「英語会話」4コマ、「STEM (理数)」2コマ、原則隔週で「作家の時間」と「読書家の時間」2コマを行う。「英語会話」は専任講師が担う。「STEM (理数)」は必要に応じて外部講師に依頼する。
- ◇ 「生き方探求」として、共同学習で様々な分野（コミュニティ、幸福、お金、健康など）について考え合い、全体として次のような段階をくり返しつつ、自己を省察し、知能個性を何のために用いるのかの未来をデザインする活動を、火・水曜日に合計7コマ行う。協力団体あいち子どもキャリアが年間20コマ、キャリア教育を行う。関心がある高学年の「分野別学習」に参加可とする。
- ◇ 「テーマ探究」は、個人または複数で、共通のテーマで設定した問いについて探究する。「プロジェクト」は全体で話し合いながら、自分たち及び社会に関わる共同活動を行う。木曜日の3コマを年間で半分ずつ行う。
- ◇ 金曜日5限後半で「探究計画」として1週間の「生き方探求」等の振り返りと翌週の計画立案を行う。
- ◇ そのほか「サークルタイム」「自由活動」「クラスタイム」「スクールワーク」「全校ミーティング」「ユースフルタイム」などの時間は、小学部の活動の考え方と同様である。

時間		曜日	月	火	水	木	金
9:00~9:15 [15]		朝のサークルタイム					
1限	9:15~10:00 [45]		作家・読書家の時間	STEM (理数)	生き方探求	英語会話	英語会話
2限	10:10~10:55 [45]		作家・読書家の時間	STEM (理数)	生き方探求	英語会話	英語会話
10:55~11:15 [20]		ブレイクタイム					
3限	11:15~12:00 [45]		自由活動	生き方探求	クラスタイム	テーマ探究 プロジェクト	全校 ミーティング
12:00~13:10 [70]		昼休み		サークル[15] ユースフル[15]		昼休み	
4限	13:10~13:55 [45]		自由活動	生き方探求	昼休み[60]	テーマ探究 プロジェクト	スクール ワーク
5限	14:05~14:50 [45]		自由活動	生き方探求	生き方探求 (自律学習)	テーマ探究 プロジェクト	スクールワーク 探究計画
14:50~15:05 [15]		帰りのサークルタイム				帰りのサークルタイム	
15:05~15:20 [15]		ユースフルタイム			13:30~15:00	ユースフルタイム	